

## 「研究発表Ⅱ」

学校名 藤沢総合高等学校 P T A

研究テーマ 「コロナ禍の P T A 活動を見直しスリム化へ～委員の負担軽減～」

### 1 はじめに

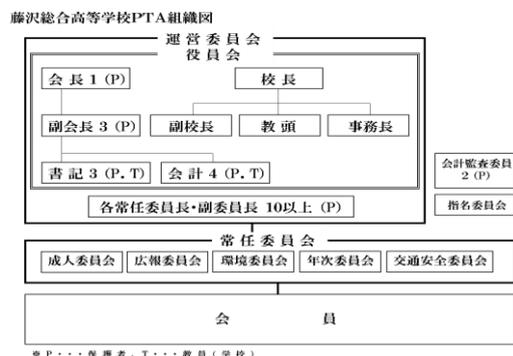
藤沢総合高等学校は、平成 16 年普通科の県立藤沢北高等学校と県立長後高等学校が再編統合の上、鎌倉・湘南地区で初めての単位制総合学科高校として開校されました。

生徒一人ひとりが、興味のある分野を学習し自分の個性を伸ばしたい、自分が目指す職業に結び付く学習をしたいなど、豊かで多様な個性を伸ばすために誕生したのが総合学科です。総合学科の学びはすべての生徒が学ぶ「学校必修科目」のほかに「グローバル教養」、「芸術スポーツ」、「生活デザイン」、「情報ビジネス」の系列選択講座から興味や関心を広げ将来を考える科目を選択し学ぶことが出来ます。来年度は開校 20 周年を迎えます。

### 2 P T A について

本校の P T A は主に 5 つの常任委員会（環境・交通・広報・成人・年次）と本部役員で活動しています。

#### 【P T A 組織図】



### 3 テーマ設定の理由～スリム化について～

現在の 3 年次生が入学した年から、コロナの影響で P T A として関わるイベントや行事も減り、活動自体が縮小傾向にありました。それまで行われてきた会議や研修会が中止、或いは書面、オンライン開催となり、活動が制限される中で、この機会に出来ることを検討し、P T A の活動自体を見直してみてもどうかという意見が出ました。本

部で今の時代に合った P T A に少しずつ形を変えていこうと話合い、スリム化を進めることとなりました。

### 4 スリム化に向けて

本来、本部の役割は学校と各委員会を結ぶパイプ役、取りまとめ役でなくてはなりません。コロナ禍以前は外部の研修大会や地域連携会の参加、学校の行事の協力等をこなす事で精一杯で各委員会との交流やコミュニケーションをとる機会があまりありませんでした。そこで運営委員会を結果報告の場からディスカッションの場にしようと考え、スリム化の一環として各委員会が抱えている問題や疑問点の意見交流を行うこととなりました。

#### ◆◆本部の取り組み◆◆

- ①各委員会の事業計画の内容確認。改善出来る所を一緒に考え、委員会の負担を減らしていく。
  - ②本部にて各行事参加へのボランティアを募集。
  - ③LINE にて各委員長へアンケートの実施。
- アンケートの内容↓↓

1. 現在の委員数と実働人数について。
2. 活動内容を見直して、本当に必要かどうかの再検討。

#### 【アンケート結果】

委員会名	委員数	実働人数
環境	36名	定例会3回の参加率⇒75%
		(水やり当番⇒週に2人ペアで1人2回程度)
成人	28名	定例会3回の参加率⇒57%
広報	22名	定例会4回の参加率⇒68%
		体育祭・翡翠祭⇒81%
交通	22名	定例会3回の参加率⇒50%
年次	33名	定例会3回の参加率⇒55%
		体育祭⇒66%・翡翠祭⇒51%

アンケート結果を踏まえ、平均 4～5 人程度、勧誘数を減らせるのではないかと各委員会へ提案しました。来年度の勧誘が楽になるように、とい

う配慮でしたが、結果としては、本年度から役員の任期が1年から3年へと変更されたことが影響し（任期の変更は昨年度、本部の1年次役員が全員辞めたことを受けて本年度総会にて承認）「希望人数が集まらないかもしれない」という不安から、勧誘回数や勧誘に配置する人数を増やしたことで、通年よりも多めの勧誘人数となりました。

【各委員会のスリム化への活動報告】

◆◆環境◆◆



環境委員会は、主に学校花壇を保全する活動を行っています。翡翠祭（ひすいさい）では花壇や校内トイレをハロウィン風に飾り付け、卒業式や入学式では体育館前の階段に花を飾る等で学校行事にも参加しています。

委員の負担軽減のために、今年度より、作業のスリム化を実施。定例会を年10回から7回に減らし、2人体制・週交代だった水やり当番を1人体制に変更しています。それに伴い、花の仕入も見直しました。花壇全体の保ちを考え、一年草メインの花壇に、長持ちする多年草や落ちた種が芽吹く花を加えて様子を見ています。

今年度のスローガンは『ほっこり癒しになる花壇作りを目指します』です。生徒や先生方、来校される方々に喜んで頂けるよう、無理なくより良い学校環境作りのために活動していきます。

◆◆交通安全◆◆



【生徒へ募集した標語】

【セーフティカードの発行】



交通安全委員会では、翡翠祭で生徒たちとの交流を考え、交通安全に関連するゲームやDVD上映などを行い交通安全について啓発活動を行ってきました。

他には、事故から身を守るための反射板を配付してきました。近年ではPTA活動のスリム化の推進とコロナ禍が重なり、密を避ける目的と委員の負担軽減の観点からグループLINEを活用した打ち合わせを進めてきました。昨年度は翡翠祭への参加は見送り、「セーフティカード」の生徒への配付に切り換えたことで、委員の負担は軽減されました。

今後も、PTA活動のスリム化を踏まえ、生徒たちへどのような形で還元していけるかを考え、活動していきたいと思ひます。

◆◆広報◆◆



委員長・副委員長をはじめ21名で活動しています。本校では年2回広報紙を発行しており、学校行事を始め、校舎内地図・校内施設の紹介をしています。本校独自の授業カリキュラムやイベントを取材し広報委員で協力してレイアウト・文章・デザインを考え、印刷業者に依頼して広報紙を作成しています。

また、イベント毎に編集チームを分けてLINEグループを作り、その中で打ち合わせをするなど取材そのものを見直しました。また、先生方に写真撮影を協力してもらうことで集まる回数を減ら

しました。生徒たちの日常取材することによって、先生方とのコミュニケーションもとれています。また生徒たちから写真や資料を提供してもらうことで生徒の活動により密着した活動になっています。

#### ◆◆成人◆◆



成人委員会では、コロナ禍もあり委員とPTA会員の安全を優先し、イベントを自粛、縮小した委員会活動の見直しや改善に取り組みました。グループLINEを活用し、役員どうしでの意見交換、必要な情報を共有し、従来の活動を見直すことで定例会の削減等円滑な活動ができるように努めています。

開催イベントを2つに絞り安全を考慮し販売を行った翡翠祭やコロナ感染対策がされている劇団四季のミュージカルの鑑賞会を実施しました。

マイナスをプラスに捉え、状況に応じて柔軟に対応することで、今後も委員が活動しやすく、PTA会員の皆さんに楽しんで頂けるイベント開催をしていきたいと思っています。

#### ◆◆年次◆◆



年次委員会は各委員会の中でも生徒たちに一番近い委員会です。例年、年次懇談会、体育祭、翡翠祭、卒業茶話会、藤総フェスティバルなどの学校行事に参加しています。今年の体育祭では感染対策を講じた上で冷たい飲み物やゼリーの提供を行い、生徒たちから大好評でした。それぞれの行

事に委員会全体で準備していましたが、スリム化を考えて、現在は行事ごとにグループに別れて準備を進めています。

昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、卒業茶話会が中止となってしまいましたが、コロナ禍でできる事を試行錯誤しながらこれからもたくさんの行事に参加していきたいと思っています。

#### ◆◆本部◆◆ 【ボランティアを募集して行った

紫陽花の植栽】



- 2年前「藤総ボランティア」を導入しました。ボランティアを募る際に話し合ったことは、
- ① どのように告知するか⇒学校のネットワーク配信「マチコミ」でお知らせする。
  - ② 交通費の支給はどうするか⇒実費を支給する。
  - ③ 集まり過ぎた時、または集まらなかった時の対策は⇒多く集まった時は抽選にし、集まらなかったら再度募集をかける。

結果として1回目の参加は4名。2回目は1名のみでした。(1回目に交通費の支給に想像以上に手間がかかったことがあり、今後ボランティアの回数や人数が増えた場合の対応が難しくなると考えて2回目は交通費支給をやめたことが原因だったのかと思います。)

今後の課題として、募集回数を増やし、参加者への謝礼などを考えていく必要があると考えています。

#### 5 まとめ～スリム化を進めてきて～

「出来る人が出来るときに出来ることをやる！」を基本の考えとして進めてきましたが、役員や委員の負担軽減といっても安易にカット出来ない活動もあります。コロナ禍とはいえ生徒をバックアップすることがPTAの最も大事な仕事と考えているからです。

## 【翡翠祭受付

検温・マスク確認・マスクケースの無料配付】



例えば翡翠祭では、参加を見送るのではなく、入場の受付で検温と手指消毒のお願い、マスクの確認、P T Aで作成したマスクケースの無料配付をしました。役員が交代で生徒の展示を見て回る際には除菌シートで手すりやドアなどを拭く等の活動を行いました。体育祭での生徒への飲み物のサービスも感染防止対策をし、例年通り行っています。



また長年続いている「コスモスの集い」は、生徒と保護者で種蒔きをし育てたコスモスを飾り愛でながら、地域から長後中学校、富士見台小学校の校長先生、学校運営委員会の方々、P T A・生徒会本部役員の生徒・地域交流委員が参加して情報交換をする場になっています。

【ボランティアと一緒にコスモスの種蒔き】



今までは飲食をしながら情報交換をしていましたが、現在のコロナ禍でも中止にはせず、お茶やお菓子をP T Aで袋詰めをして持ち帰ってもらうようにして開催しています。定期的にこのような場を設けて意見交換をすることは、新たな試みを見つけるきっかけになるとともに、地域との交流を深め、よりよい関係を築くことに繋がっています。

【藤総ロードに咲くコスモス】



このように手探りの中で進めてきて、まだまだ現在進行形のP T A活動のスリム化ですが、やはり前例や慣習をやめるということは、同じことを続けていくことよりも大変で、決断力が求められとても重く感じる場合があります。しかし、一度、とりあえずやってみて、上手いかなかった場合はまた変えればよいという考え方で、少しずつではありますが、気負わずに気軽に参加出来るP T A活動を今後も目指していきたいと思っています。

「出来る人が 出来るときに 出来ることをやる！」

